

C00P トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

みやぎ生活協同組合 理事長 殿
株式会社日専連ライフサービス 社長 殿

団体・学校名	宮城県白石高等学校
連絡先	〒 989-2407 宮城県白石市八幡町9-10 (電話) 0224-25-3154 (FAX) 0224-25-3155 (ホームページ) https://hakko.myswan.ed.jp/wysiwyg/image/download/1/1310/big
代表者名	(役職) 校長 小 野 正 美
連絡担当者名	(役職) 教諭 吾 妻 秀 男
連絡担当者 住所・連絡先	〒 989-0247 宮城県白石市八幡町9-10 (電話) 0224-25-3154 (FAX) 0224-25-3155 (携帯電話) 090-2992-5774 (e-mail) azuma-hi732@td.myswan.ne.jp

1. 助成事業報告

事業名	高校生発案！ カフェで白石活性化！！
目的	・白石商店街の過疎化が目立っているので少しでも活性化させたい。 ・高校生を商店街に呼び込みたい。 ・高校生が動いたら大人も動いて活性化できるのではないかと考えるため、「カフェ」を開設させて計画的に営業する。
実施内容	※カフェを開設し、高校生を商店街に呼び込む。 実施日・時間をポスターに明示して周りの人に知らせる。 情報発信方法としてポスターを作成し商店街や校内に貼付する。 事前にメニューと値段を決めてリハーサルを行う。 2年生3名と1年生2名で協力し合ってカフェを営業する。 営業状況をまとめる。(事前買い出し金額、来店者数、売上金額) 活動日は「総合的な探究の時間」(火曜日7時間目)を利用する。
開始から 終了までの 流れ	・4月～5月・・・2年生が1年生のメンバー募集 活動日～5/9, 5/16, 5/23, 5/30 (活動検討) ・6月～7月・・・事業計画作成・活動内容・目的・コンセプト等立案 活動日～7/4 (市内をゴミ拾いし、ナガハシ時計店訪問) 7/11 (ナガハシ時計店で営業計画を立てる) 7/18 (コンセプト及び関係機関へ電話して確認) 7/28 (食品衛生責任者講習会の受講申請) ・8月～9月・・・事業計画の見直し、カフェ開店場所の選定

	8 / 18 (白石市役所市民経済部商工観光課訪問)
	8 / 22 (カフェを開設する準備計画)
	8 / 23 (食品衛生責任者講習会受講) 担当: 吾妻
	9 / 26 (保健所訪問計画)
	9 / 29 [中間報告会]
・ 10月	・保健所への交渉・確認→選定場所の変更 10 / 13 (保健所訪問→計画書提出→却下) 10 / 17 (出店場所の再搜索) 10 / 24 (トークワンとの交渉) 10 / 31 (トークワンとの打合せ→リハ日決定)
・ 11月	・新開店場所の申請、営業リハーサル(11/23) 11 / 11 (トークワンで見取り図作成→保健所) 11 / 13 (仙南保健所へカフェ開店申請) 11 / 22 (第1回目の買い出し) 11 / 23 (第2回目の買い出しとリハーサル) 11 / 24 (仙南保健所の立入指導→作業台購入) 11 / 26 (第3回目の買い出し) 11 / 27 (第4回目の買い出し)
・ 12月	・ 12 / 5 (1回目の集計と5回目の買い出し) 12 / 12 (2回目の集計と6回目の買い出し)
・ 1月	・ 1 / 9 (3・4回目集計と7回目の買い出し) 1 / 16 (5回目の集計と8回目の買い出し) 1 / 23 (6回目の集計と9回目の買い出し) 1 / 30 (7回目の集計と10回目の買い出し)
・ 営業日	・①11/30～来店者29名、売上金額 3,820円 ②12/ 7～ 20名、 2,930円 ③12/14～ 28名、 2,950円 ④12/21～ 15名、 2,420円 ⑤ 1/11～ 13名、 5,720円 ⑥ 1/18～ 19名、 3,290円 ⑦ 1/25～ 18名、 3,830円 ⑧ 2/ 1～ 49名、 11,030円 合計 191名 37,240円 (1回平均 約23名) (1回平均4,655円)
・ 営業時間	・ 17:00～18:30 (90分→8回で12時間) (1時間当たり約15名、1時間当たり約3,103円)
・ 2 / 20	・スマイル基金活動発表会への参加 (生徒3名)
・ 3 / 1	・白石市 (市長) へ純利益 <u>8,273円</u> を寄付 [飲み物等購入金額28,967円]

	[売上げ37,240円－28,967円＝8,273円]
活動の成果と教訓	・ 高校生7割に対し、一般市民も3割くらいの来店状況であった。 ・ 高校生は飲み物を提供する場としてや、学習の場として利用した。 ・ 一般の方はSNS等でこのカフェを知ったため訪れたようである。 ・ 開店時期が冬場、夕方暗く寒い時間であるため人は少なかった。 ・ 12月14日白石市長はじめ市役所の方が11名訪れた。You Tube で発信された。オリジナルジュースが美味しいと飲んだ。 ・ オリジナルジュースは白石産りんごとにんじんミックスである。オリジナルジュースを作ることが来店者を確保する上で必要だ。オリジナルジュースを作るためにジュースを購入した。
今後の展望など	・ 2年生の3名は総合的な探究の時間で実施してきたので引退する。 ・ 1年生2名が他の仲間を入れて次年度実施する予定である。今後、開店場所や時期、接客、販売品目に食べ物を入れたい。 ・ 開店場所トクワでは、電気代や水道代等はいかからないが、開店のために荷物の運び込みや片付けをその都度行わなければならない。 ・ 場所的にはもう少し白石駅前で、物品を保管できる場所がほしい。夏場に冷たい飲み物を提供すれば、人はもっと集まると思われる。 ・ 食品衛生管理者は常駐する必要はないが連絡が取れる状態にする。 ※カフェで「白石活性化」というところまでいくためには、今回の取り組みや白石高校の生徒がさまざまな活動が地域に受け入れられ、住民や行政を動かすことが大切であると考え。そのために、カフェの活動は一石を投じたことになるのではないかとと思われる。可能な限り生徒の自主的な活動を支援していきたい。

2. 助成金使途報告書

(1) 収入の部 (助成の対象となった事業の分のみ)

確保した資金内容	金額 (円)	備考
みやぎスマイル基金	300,000	県費へ入れ替え
合 計	300,000	

(2) 支出の部 (助成の対象となった事業の分のみ)

費目	内容	予算額	実支出額	助成金からの支出額	領収書 No.
活動用具 1 コメリ 49,576 円	カシオレジスター	37,000	37,000	37,000	1
	折り畳みテーブル	3,980	3,980	3,980	
	キャリングボックス	1,980	1,980	1,980	
	その他用具9点	6,616	6,616	6,616	
活動用具 2 コメリ	テーブルスタンド 木枠	3,480	3,480	3,480	2
	両面メニューボード	3,480	3,480	3,480	

26,960 円	LEDライト	2,980	2,980	2,980	
	その他用具 15 点	17,020	17,020	17,020	
活動用具 3 コメリ 35,560 円	前開き冷蔵庫	19,800	19,800	19,800	3
	電気ポット	10,800	10,800	10,800	
	ペダルペール 30 1	4,960	4,960	4,960	
活動用具 4 コメリ 16,198 円	LEDライト USBライト	7,920	7,920	7,920	4
	ポス 8 色セット	1,380	1,380	1,380	
	スマートタック 2A	1,380	1,380	1,380	
	その他用具 12 点	5,518	5,518	5,518	
活動用具 5 青柳商会 46,860 円	ホールスローユーザー EVO-800 レット	46,860	46,860	46,860	5
活動用具 6 山ロプリント 15,400 円	宣伝用ポスター	15,400	15,400	15,400	6
活動用具 7 朝文堂 1,107 円	ファイル・筆記用具等 4 点	1,107	1,107	1,107	7
活動用具 8 生協 45,980 円	脚付両面ホワイトボード	45,980	45,980	45,980	8
活動用具 9 生協 37,125 円	ラベルライターテプラ	37,125	37,125	37,125	9
活動用具 10 生協 25,234 円	テプラテープ・ボックス 等 5 点	25,234	25,234	25,234	10
合 計		300,000	300,000	300,000	

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

*収入の合計と支出の合計が一致していることをご確認ください。

3. 送付必要書類

- (1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書
 - (2) 領収書のコピー（助成金から支出した分のみ）番号を振ってください
 - (3) 成果物（活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真※など）
- （※写真は HP・SNS 等に掲載可能なものを送付ください。）

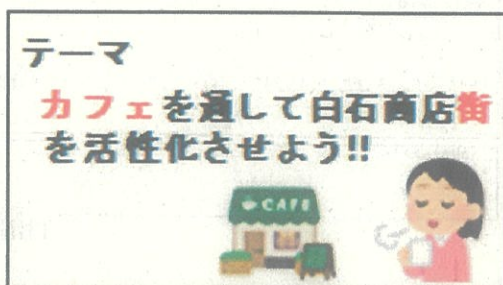
【カフェ活動発表用のパワーポイント】



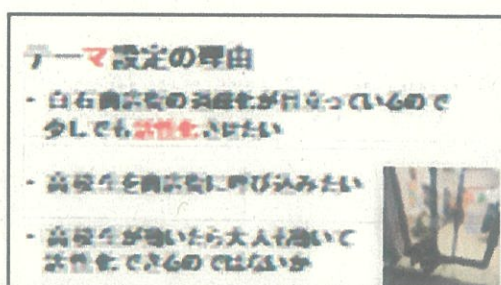
1



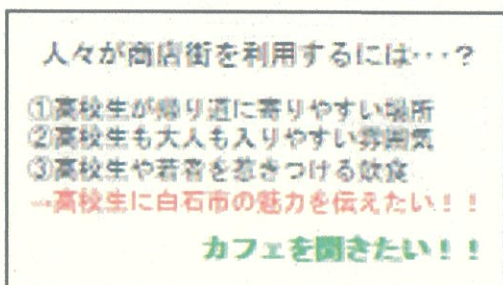
2



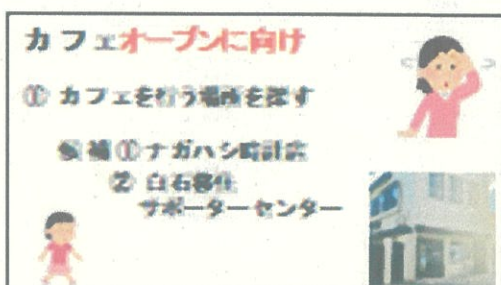
3



4



5



6

★
西郷通とロードトンネル
間にも、イートリー・ゾーン

- ・帰り道に近い
- ・飲食可能
- ・ゆっくりできる
スペースがある。
- ・大人も入れる

協力してくれる大人がいる！

7

カフェオープンに向け

② 保健所の検査

× ナガハシ時計店

○ 白石市移住交流
サポートセンター

8

メニューは？

- ・高校生を惹きつけるもの
飲み物→ インスタ映え！

色つきサイダー
白石アビール
できる！
オリジナルドリンク

9

カフェオープンに向け

③ 必要なものの買い出し

- ・生協さんから30万円の支援金
- ・提供品(材料)は売上金を
利用して購入

10

カフェオープンに向け

④ ポスター・ チラシ作り

校内及び校外

11

カフェオープンに向け

⑤ リハーサル 11月23日(木)

ドリンクの試飲・試飲 内装 当日の動き方確認

12

Cafe Luna

営業日 本曜日 (8回)

営業時間 17時~18時半

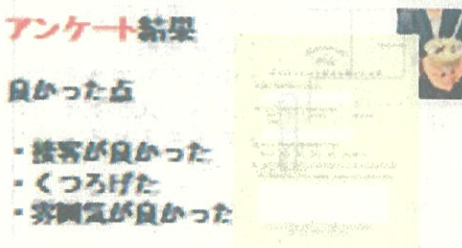


13

アンケート結果

良かった点

- ・接客が良かった
- ・くつろげた
- ・雰囲気良かった



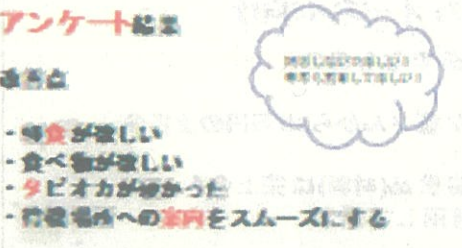
14

アンケート結果

良かった点

- ・朝食が美味しい
- ・食べ物が美味しい
- ・タピオカが良かった
- ・飲食場所への案内をスムーズにする

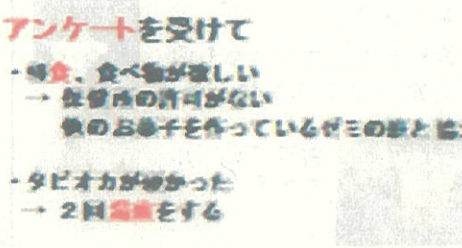
両方して頂くの嬉しい!!
両方から改善して頂きたい!!



15

アンケートを受けて

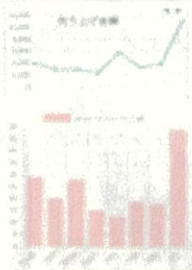
- ・朝食、食べ物が美味しい
→ 飲食店の許可がない
他のお菓子を作っているゼミの協力を
- ・タピオカが良かった
→ 2回 調査をする



16

営業結果

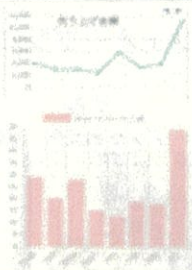
期	人数	売上	円
第1期	22人	2820	円
第2期	20人	2930	円
第3期	20人	2920	円
第4期	23人	2620	円
第5期	23人	3720	円
第6期	23人	3290	円
第7期	23人	2820	円
第8期	23人	11020	円



17

考察

- ① お店にまでもう一人を呼び込むための工夫が必要なのではないか
- ② 飲食店でイベントがあればみんな飲食店を巡ってくるのではないかな
- ③ 高校生がカフェを開くことは大人に刺激を与えられるのではないかな



18

考察①についての結果

ポスターの掲示や校内放送
を行ったことによって
来店者数が増えた。



19

考察②についての結果

カフェを行うことによって
商店街を巡って帰る人が増え、
商店街を知ってもらうことが出来た。

20

考察③についての結果

白石市のYouTubeや広報誌に掲載して頂いた。また、必要に応じてコーヒー豆を提供
できると提案する方もいて、白石の大人の
方を巻き込んで共にカフェは成功できた。
一方で「白石活性化」への道は地道な活動
を続けていく必要があると感じた。

21

白石市長、
生協の方と

「オリジナルジュース
はうまい」と、
感想を述べられた。



22



23

カフェの感想と御礼

- ・オープンするまでの準備が大変だった。
- ・多くの人が参加できる機会になった。
- ・貴重な体験ができ勉強になった！
- ・多くの人の支えがあってできたことだけ知れた。
- ・お世話になった方々に感謝したい！
- ・来年もできるかな夢をさせてほしい。

24

4

白石市へ寄付したときの写真

3月1日（金）14:30過ぎ



駅前カフェ



2-2 水野 萌香
2-4 寺島 真愛
2-4 長谷川舞優

1-1 高橋 蘭彩
1-5 穴戸 咲希

担当教員
吾妻先生

1. 目的・意義

この活動を始めようと思ったきっかけは、白石商店街がシャッター街になってるのをみて、高校生など若い世代を呼び込んで白石商店街を盛り上げたいという願いがあったからです。

また、高校生が積極的に活動することで、大人の方に刺激を与えたいという考えからこの活動を始めました。

2. 方法

若い世代が来やすい場所を目指“カフェルナ”をオープンさせました。

事前準備～店舗探し、保健所検査、メニューの考案
と値段設定、買い出し、店舗装飾
宣伝活動～ポスター、チラシ、校内放送、SNS等

カフェ開店日

白石移住交流サポートセンター

[109-one (トークワン)] 11月～2月

計8回 木曜日 17:00～18:30

3. 結果

白石市長をはじめ、市役所職員や生協担当者、地域の方々、白石高校生など総勢191名の来店でした。
来店者割合は、高校生7割それ以外の方3割位です。

営業結果

第1回	29 人	3820 円
第2回	20 人	2930 円
第3回	28 人	2950 円
第4回	15 人	2420 円
第5回	13 人	5720 円
第6回	19 人	3290 円
第7回	18 人	3830 円
第8回	49 人	11000 円



4. 考察

地域の方はポスターや新聞、SNS等で知ったと話され、関心を寄せる人が多いようです。

高校生が活動することで周りにも刺激が与えられるという検証結果と言えます。

5. 結論

ゼミの活動を始めてから実際カフェを開店するまで簡単な道のりではありませんでした。

しかし、カフェの活動を通して、起業することの大切さや地域の方とのつながり、地域興しの重要性などを学ぶ機会となり大変勉強になりました。

6. 今後の課題

地域の方は、新聞やSNS等でカフェを開店することは知っているようです。しかし、開店の時期や時間が合わないために来店できないことを知りました。そのため、冬の時期以外や日中にも開店したり、食べ物などを提供したりするなどして、多くの方々が気兼ねなく来店していただくようにすることも必要ではないかと考えています。

そして、高校生が動くことにより駅前を活性化したいという思いを大人の方に繋げていきたいと考えています。

7. お世話になった方々に感謝いたします

白石市長・市役所職員、トークワン事業者
COOP宮城県スマイル基金(30万円) 担当者
日専連ライフサービス地域連携事業部担当者
地域の方々、白石高校の先生及び生徒のみなさん

※売上の純利益8,273円は白石市に寄付しました。

